

【経営の基本方針】

- 児童一人一人の特性・実態に配慮した指導・支援の充実を図る。
- 将来を見据え、発達段階に応じた教育内容の重点化を図る。
- 教職員相互の連携を重視し、組織的に対応する。
- 家庭、地域、関係機関との積極的な連携を図る。
- 根拠に基づく効果と効率を踏まえた工夫・改善に努める。

《学校教育目標》

自ら学び、心豊かでたくましく、ともに助け合う児童の育成
(よく学び、よく遊べ、そして助け合う三川っ子)

《めざす児童像》

【確かな学力】

基礎・基本を身に付け、活用しようとする子

【豊かな心】

自分のよさを理解し、友達を大切にしようとする子

【健やかな体】

心と体の健康を考え、進んで鍛えようとする子

【協力し合う態度】

認め合い、支え合い、協力して行動しようとする子

《取組の重点》

- 「分かる・できる・楽しい・そして身に付く」授業の実践
- 授業規律と学習習慣の定着
- 個に応じた学習の機会の確保
- 図書館の活用と読書の奨励

- 一人一人のよさに着目し、認め励ますことによる指導の充実
- 教育活動全体を通じた道徳教育の実践
- 教育相談の充実とよりよい人間関係の醸成

- 休み時間の確保と外遊びの奨励
- 一人一人の実態を踏まえた、計画的、継続的な保健・体育指導の実践
- 健康・安全に関する理解の向上と望ましい生活習慣の育成

- 具体的、継続的な指導による清掃活動の充実
- 計画的な指導・評価による、係・委員会活動の充実
- 一人一人の役割に配慮した、行事・集会の実践

《基盤となる取組》

【学校安全・地域との連携】

- 安全へ配慮し、児童が安心して学び、遊べる環境を整備する。
- 安全教育の充実を図り、児童の自ら身を守る力を高める。
- 家庭・地域との連携を推進し、地域の見守り活動の充実を図る。

《めざす学校像》

- 子供一人一人がよさを発揮し、主体的に活動する学校
- 生涯にわたり学習する基盤が培われるための授業が充実した学校
- 家庭・地域との相互理解・協力を図り、地域とともに歩む学校
- 教職員が指導力を磨き、組織的に教育活動を展開できる学校